

平成 27 年 2 月 25 日

カブドットコム証券株式会社
(コード番号：8703 東証 1 部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社
取締役社長 長岡 孝

三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社によるカブドットコム証券株式会社株券(証券コード 8703)の取得、ならびにカブドットコム証券株式会社の親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ

三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社（以下 MUSHD）は、本日の取締役会において、カブドットコム証券株式会社（以下当社）の親会社である株式会社三菱東京 UFJ 銀行（以下 BTMU）が保有する当社普通株式 67,600,000 株を取得することを決議いたしました。これにより、以下の通り当社の親会社及び主要株主が異動する予定ですので、お知らせいたします。

1. 異動予定年月日

平成 27 年 4 月 1 日（株式譲渡契約締結日：平成 27 年 2 月 25 日）

2. 異動予定について当社が知るに至った経緯

当社の親会社である株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 平野 信行、以下 MUFG）ならびにその子会社である BTMU 及び MUSHD が、MUFG グループにおける金融商品取引事業の一層の成長やシナジーの最大化について協議を重ねた結果、当社株式の BTMU から MUSHD への譲渡を本日決定した旨、連絡を受けたものです。

3. 異動予定の株主の概要

| | | | |
|-------------------|-------------------------------|--|---|
| (1) 名 称 | 三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社 | 株式会社三菱東京 UFJ 銀行 | |
| (2) 所在地 | 東京都千代田区丸の内 2-5-2 | 東京都千代田区丸の内 2-7-1 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 取締役社長 長岡 孝 | 頭取 平野 信行 | |
| (4) 事業内容 | 証券持株会社 | 銀行業 | |
| (5) 資本金 | 75,518 百万円 ^(注) | 1,711,958 百万円 ^(注) | |
| (6) 設立年月日 | 昭和 23 年 3 月 4 日 | 大正 8 年 8 月 15 日 | |
| (7) 連結純資産 | 1,068,092 百万円 ^(注) | 11,741,453 百万円 ^(注) | |
| (8) 連結総資産 | 30,418,476 百万円 ^(注) | 201,614,685 百万円 ^(注) | |
| (9) 大株主及び持株比率 | 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 100% | 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 100% | |
| (10) 上場会社と当該株主の関係 | 資本関係 | 平成 26 年 9 月 30 日現在、当該株主は当社の株式 20,637,400 株（議決権の 11.8%）を直接所有しております。 | 平成 26 年 9 月 30 日現在で、当該株主は当社の株式 78,117,600 株（議決権の 44.9%）を直接所有しております。 |
| | 人的関係 | 該当なし | 当社の取締役代表執行役副社長 藤田通敏は、当社の親会社である当該株主の出身者であります。 |

| | | | |
|--|------|------|--|
| | 取引関係 | 該当なし | 平成 26 年 3 月期末において、当社は当該株主から 6,900 百万円を借り入れ、同期中に利息・手数料等 90 百万円を当該株主に支払っております。 |
|--|------|------|--|

(注) 平成 26 年 3 月 31 日現在

4. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数(所有株式数)及び総株主の議決権の数に対する割合

(1) 三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社

| | 属性 | 議決権の数 (所有株式数) | | | 大株主 順位 |
|--------------------------------|-------------------------|--|-----------------|--|-----------|
| | | 【総株主の議決権の数に対する割合】 | | | |
| | | 直接保有分 | 合算対象分 | 合計 | |
| 異動前 (平成 26 年 9 月 30 日現在) | 主要株主 | 206,374 個 (20,637,400 株) 【11.8%】 | — (—) 【—】 | 206,374 個 (20,637,400 株) 【11.8%】 | 第 2 位 |
| 異動後 (平成 27 年 4 月 1 日予定) | 親会社・主要 株主である 筆頭株主 | 882,374 個 (88,237,400 株) 【50.6%】 | — (—) 【—】 | 882,374 個 (88,237,400 株) 【50.6%】 | 第 1 位 |

(2) 株式会社三菱東京 UFJ 銀行

| | 属性 | 議決権の数 (所有株式数) | | | 大株主 順位 |
|--------------------------------|-------------------------|--|-----------------|--|-----------|
| | | 【総株主の議決権の数に対する割合】 | | | |
| | | 直接保有分 | 合算対象分 | 合計 | |
| 異動前 (平成 26 年 9 月 30 日現在) | 親会社・主要 株主である 筆頭株主 | 781,176 個 (78,117,600 株) 【44.9%】 | — (—) 【—】 | 781,176 個 (78,117,600 株) 【44.9%】 | 第 1 位 |
| 異動後 (平成 27 年 4 月 1 日予定) | — | 105,176 個 (10,517,600 株) 【6.0%】 | — (—) 【—】 | 105,176 個 (10,517,600 株) 【6.0%】 | 第 2 位 |

5. 今後の見通し

本異動による当社の平成 27 年 3 月期業績への影響はございません。

今後の当社の施策等につきましては、別紙「カブドットコム証券株式会社の資本異動について」をご覧ください。

以 上

本資料は、三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社(株式買付者)がカブドットコム証券株式会社(本買付の対象会社)に行った要請に基づき、金融商品取引法施行令第 30 条第 1 項第 4 号に基づいて行う公表を兼ねております。

(別紙)

平成 27 年 2 月 25 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
カブドットコム証券株式会社
株式会社三菱東京 UFJ 銀行
三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社

カブドットコム証券株式会社の資本異動について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行、以下 MUFG）ならびにその子会社である株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行）および三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社（取締役社長 ^{ながおか たかし} 長岡 孝）は、MUFG グループにおける金融商品取引事業の一層の成長やシナジー最大化について、協議を重ねてまいりました。本日、その一環として、MUFG グループ内において、三菱東京 UFJ 銀行の子会社であるカブドットコム証券株式会社（代表執行役社長 ^{さいとう まさかつ} 齋藤 正勝、以下対象会社）について資本異動を行い、三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社の子会社とする株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 資本異動の理由

「貯蓄から投資へ」の流れを受け、総合証券会社等を傘下に有し、金融商品取引事業での顧客基盤とノウハウを有する三菱 UFJ 証券ホールディングスのもとの、対象会社の事業を展開することが、今後の長期的な成長・発展に寄与するとの判断にいたったものです。

2. 資本異動の内容

| | | |
|----------------|--------------------|-------|
| (1) 異動前の株式保有割合 | 三菱東京 UFJ 銀行： | 44.4% |
| | 三菱 UFJ 証券ホールディングス： | 11.7% |
| (2) 異動後の株式保有割合 | 三菱 UFJ 証券ホールディングス： | 50.1% |
| | 三菱東京 UFJ 銀行： | 6.0% |

3. 日程

| | |
|---------------|------------------|
| (1) 株式譲渡契約締結日 | 平成 27 年 2 月 25 日 |
| (2) 株式譲渡日 | 平成 27 年 4 月 1 日 |

4. 対象会社の概要（平成 26 年 3 月期時点）

| | |
|-------------|-------------------|
| (1) 名 称 | カブドットコム証券株式会社 |
| (2) 所 在 地 | 東京都千代田区大手町 1-3-2 |
| (3) 事 業 内 容 | 金融商品取引業 |
| (4) 資 本 金 | 71 億円 |
| (5) 設 立 日 | 平成 11 年 11 月 19 日 |
| (6) 決 算 期 | 3 月 |
| (7) 純 資 産 | 422 億円 |
| (8) 総 資 産 | 7,006 億円 |

5. 今後の見通し

本件が MUFG の連結業績に与える影響は軽微です。

対象会社は、MUFG グループの証券戦略におけるネットリテールビジネスの中核会社として、国内株式市場におけるプレゼンスの向上を図るとともに、収益力を拡大・多様化することで、さらなる企業価値向上を図ります。

対象会社での具体的な施策として、以下を検討しております。

(1) グループ顧客基盤の活用

MUFG グループが有する個人 4,000 万口座を背景に、三菱東京 UFJ 銀行等を通じた金融商品仲介の強化や、グループ会社とのお客さまの相互紹介等の実施。

(2) グループ内での商品・サービスの相互提供

MUFG グループ会社との商品面での連携、経済・投資情報の相互提供、共同セミナー開催等といった、グループの経営資源の活用による取引活性化。

(3) 対象会社システムを活用した新ビジネス展開

対象会社の強みである IT 技術力を活用し、MUFG グループ会社へのリテールシステム基盤の提供等の検討。

以 上